

幡多の太陽

令和2年10月12日 第13号

コロナ禍での修学旅行特集

10月3日、幡陽小学校6年生9名が5校連合小学校修学旅行から元気に帰ってきました。予定の時刻を7,8分遅れていましたが、ほぼ予定通りに帰ってきました。のいち動物園で買ったぬいぐるみなどを手に、元気にバスから降りてきました。コロナ感染症のため、行き先や期間を変更しましたので、子どもたちが楽しめた修学旅行だったかどうかとても気になりました。バスから降りてきた子どもたちの笑顔を見て、ホッと一安心しました。広島から高知県内へ変更したのですが、子どもたちは、「草の家」でしっかり平和について学習してくれていましたし、今までに行ったことがある所もあったようですが、友達と一緒に行くことすごく楽しかったと感じてくれたようでした。たくさんの思い出を作って、元気に帰ってきてくれて、とてもうれしかったです。

たくさんの楽しい思い出をお土産に、みんなが元気に帰ってきました。



【修学旅行生の手記より】

・・・(略)・・・

3日目は、まず、平和資料館「草の家」に行きました。実際に、高知大空襲を8才の時に体験した語り部さんのお話を聞きました。私達は、広島や長崎に原子爆弾が落とされ、どのような被害を受けたのかというお話を聞いたり、勉強したことはありますが、高知やその他の県に爆弾が落とされ、どのような被害を受けたのかというお話はあまり聞きませんでした。しかし、今回、高知大空襲のお話を聞き、たくさんの方々が命を落とし、被害を受けたことを知ることができました。そして、本当に戦争はおそろしく、こわいものだと思います。今でも、核兵器を作ったりしている国があります。私は、早く作るのをやめ、今よりもっと平和な世の中になってほしいと思います。



ぼくは修学旅行で、たくさんの人と友達になりました。そして、たくさんの人と話げできました。すごくうれしかったです。

たくさん思い出ができました。その一部を家族の人に見せるために使い捨てカメラに収めました。

友達といろいろな所に行って、たくさん学習をして、たくさん楽しんで、たくさん思い出を作りました。すごく楽しい修学旅行でした。ぼくは、もっと長い修学旅行がよかったと思うぐらい楽しかったです。



修学旅行では、最初は不安と心配でいっぱいだったけど、2日目から班の中での会話などで少しずつ話せるようになっていきました。

今年は、コロナの影響で広島ではなく、高知県内での学習だったけど、高知城や草の家ではたくさんのお話を学びました。坂本龍馬のことについても、何をしたらいいのかなど詳しく知らなかったのでアクトランドやバスガイドさんの話で知れてよかったです。エコバック作りで作ったエコバックは、わりと絵がうまくいって自分で満足していましたが、エレベーターであまり話したことがない人から、「葵ちゃんでしたっけ…?」と言われて、「あ…、そうですけどお…。」って答えたら、「うえ?! まじだ。エコバックの絵、めっちゃうまくった人だ。やば。」って言われて(自分だれやねん…)とっていました。(びっくりした)そんなこともあって他校の人とも話す機会がいつの間にか増えてました。

広島には行けなかったけど、高知県でしか学べなかったことをたくさん学べたし、少ないけど友達もできました。この3日間で学んだことを今後の学習にも活かしていきたいです。

土佐清水市教育文化展

市民体育館におきまして、10月24日から10月26日まで(但し、26日は午前のみ)、市内の小学生、中学生が作成した書や絵画、工作などの作品を展示する教育文化展が開催されます。幡陽小の児童の作品も展示されていますので、是非、お子様と一緒にご覧いただけたらと思います。



